

■コメント

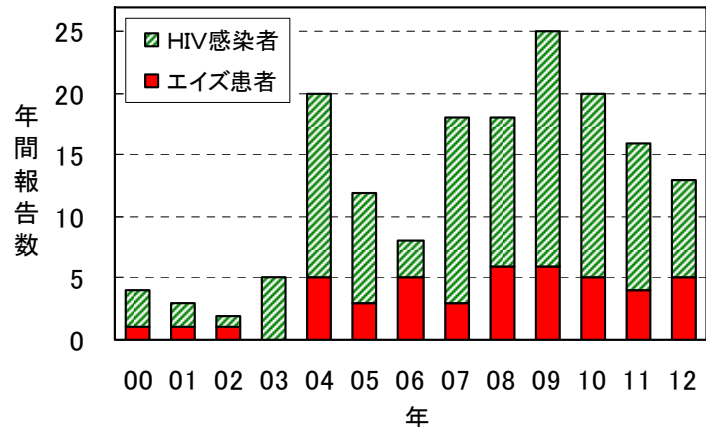
1. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は13件(エイズ患者5件、HIV感染者8件)となりました。昨年の同時期の累計12件(エイズ患者3件、HIV感染者9件)と比較し、ほぼ同程度となっています。

第33週はお盆期間中であり、医療機関の休診の影響で、実際の患者数よりも少なく報告されている可能性があります。そのため、「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

後天性免疫不全症候群の年間報告数

(2012年は8月19日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	1	0.03	0.08		ヘルパンギーナ	12	0.50	1.23	
咽頭結膜熱	4	0.17	0.43		流行性耳下腺炎	4	0.17	0.66	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.21	0.44		RSウイルス感染症	4	0.17	0.07	
感染性胃腸炎	53	2.21	2.61		急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	14	0.58	0.58		流行性角結膜炎	2	0.25	1.11	
手足口病	-	-	1.19		細菌性髄膜炎	-	-	0.09	
伝染性紅斑	1	0.04	0.21		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
突発性発しん	5	0.21	0.56		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29	
百日咳	-	-	0.04		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	204	女性(10歳代)・1人、男性(50歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
5	ウイルス性肝炎	1	5	女性(50歳代)・B型
5	急性脳炎	1	9	男性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	13	男性(30歳代)・感染者

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第29週	-	17	26	88	20	4	2	10	7	72	4	2	1	2	-	2	-
		第30週	-	9	15	71	12	4	-	21	3	55	9	4	-	6	-	2	-
		第31週	-	5	23	78	11	5	1	16	3	62	5	2	-	7	-	2	-
		第32週	-	7	17	53	14	2	1	10	-	24	4	16	1	2	-	7	-
		第33週	1	4	5	53	14	-	1	5	-	12	4	4	-	2	-	-	-
定点当り	広島市	第29週	-	0.71	1.08	3.67	0.83	0.17	0.08	0.42	0.29	3.00	0.17	0.08	0.13	0.25	-	0.29	-
		第30週	-	0.38	0.63	2.96	0.50	0.17	-	0.88	0.13	2.29	0.38	0.17	-	0.75	-	0.29	-
		第31週	-	0.21	0.96	3.25	0.46	0.21	0.04	0.67	0.13	2.58	0.21	0.08	-	0.88	-	0.29	-
		第32週	-	0.33	0.81	2.52	0.67	0.10	0.05	0.48	-	1.14	0.19	0.76	0.14	0.29	-	1.00	-
		第33週	0.03	0.17	0.21	2.21	0.58	-	0.04	0.21	-	0.50	0.17	0.17	-	0.25	-	-	-
全国		第31週	0.23	0.42	0.92	3.21	0.59	1.19	0.12	0.66	0.03	3.48	0.45	0.26	0.02	0.63	0.03	0.06	0.94
		第32週	0.22	0.37	0.77	2.87	0.55	1.01	0.09	0.58	0.03	2.35	0.41	0.31	0.01	0.56	0.03	0.06	0.98

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

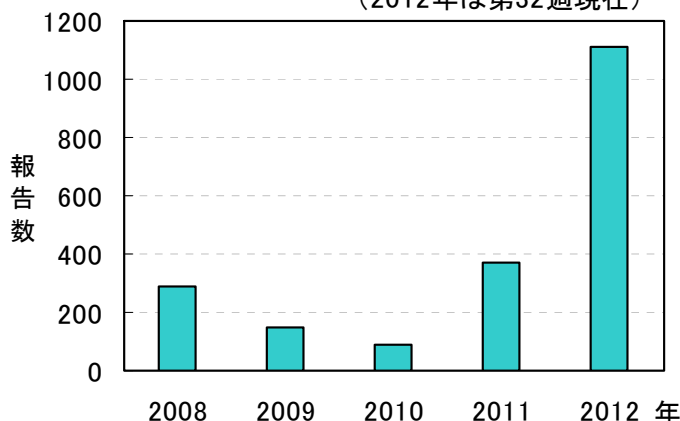
診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(39.7) リンパ節腫脹	2	男	2012/07/02	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA2型
百日咳	上気道炎	0	女	2012/07/20	咽頭拭い液	百日咳菌
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0)	4	女	2012/07/11	鼻汁(拭い液)	パラインフルエンザウイルス2型
その他の疾患	発熱(38.0)	0	男	2012/06/16	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(38.6)	0	女	2012/06/22	糞便	エコーウイルス19型 ヒトボカウイルス
その他の疾患	発熱(39.8) 発疹 熱性痙攣	5	女	2012/07/07	血液	ヒトヘルペスウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】風しんに注意しましょう！

全国の風しん年間報告数の推移

(2012年は第32週現在)



風しんの全国における2012年第1～32週の累積報告数は1112件となりました。全数報告対象疾患になった2008年以降、初めて1000件を超えました。現在、成人男性を中心に、人口密度の高い都市圏(関東地方、関西地方)や沖縄県などで報告数が多く、今後、広島市においても流行する恐れがあります。

妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が風疹ウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達の遅れ等の障がいを持った赤ちゃんが産まれる可能性があるため、本人はもとより、その夫や子供などについても、注意が必要です。

今後妊娠を希望する女性や、その家族の方で成人を含め、今までに風しんにかかったことがない、予防接種を受けていない、または不明な方は積極的に予防接種を受けましょう。

風しんの予防接種等に関する情報は以下のホームページでご覧いただけます。

風しんに要注意！ <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1338441470548/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2012年第33週(8月13日～8月19日)